

1. はじめに

1 年次「プログラミング演習」で C 言語で Minesweeper のプログラムを作成した。今回は Python を用いて Minesweeper を実装してみよう。

Minesweeper の仕様の概要は以下のとおり：

- (1) 8x8 のセルを持つボードに `number_of_mines`(デフォルトでは 10)個の地雷がランダムに設置される。
- (2) セルは `CLOSE(0)`, `OPEN(1)`, `FLAG(2)`の三つの状態を持つ。初期状態では、すべてのセルが `CLOSE` に初期化される。セルが `CLOSE` 状態になっていると、ユーザは地雷の位置を知ることはできない。
- (3) ユーザがボード上の `OPEN` 状態でない任意のセルを選択すると、選択したセルとその周囲 8 近傍のセルを同時に開く(`OPEN` 状態になる)。
- ① 開いたセルに地雷がある場合：ゲームオーバーとなり、ゲームを終了する。
- ② 開いたセルに地雷がない場合：周囲 8 近傍のセルに設置された「地雷の数」を表示する。
近傍セルに地雷がある場合は閉じたままにする(`CLOSE` 状態)。周囲 8 近傍のセルに地雷が 1 個も設置されていない場合は「空白」となる。
- (4) 地雷セル以外をすべて開けるとゲームが終了する。

2. 課題

以下の手順で Minesweeper のソースコードを完成させなさい。

(STEP 1) ゲーム盤を初期化する `init_game_board()` メソッドにコードを追加して完成させなさい。

すべての要素が `CLOSE` 状態(0)である 8x8 の 2 重リストを作成し、インスタンス変数 `self.game_board` に代入する

(オプション課題 1) リスト内包表記を使って 1 行で書きなさい。

(STEP 2) 地雷マップを初期化する `init_mine_map()` メソッドにコードを追加して完成させなさい。

処理概要は以下のとおり：(1) すべての要素が 0 である 8x8 の 2 重リストを作成し、インスタンス変数 `self.mine_map` に代入する、(2) `number_of_mines` 個のセルをランダムに選択して地雷を設定する。地雷があるセルに対応する `mine_map` 要素の値は-1 とする。乱数を生成する関数 `random.random()` を使用するとよい。

(例外処理) 引数として `number_of_mines` に負の値が指定された場合は何もしない。

(オプション課題 2) 地雷の数 `number_of_mines` が大きくなると処理時間が $O(\text{number_of_mines}^2)$ で増加するコードになっている場合 (2 重ループを使っている場合) は、リストのソート処理を除いて計算量が線形オーダー $O(\text{number_of_mines})$ になるように書き換えなさい。

(STEP 3) (STEP2)で初期化した地雷マップをもとに、各セルの周囲 8 近傍にある地雷を数えて 2 重リ

スト mine_map に記録し数字セルを作成しなさい。例えば、図 1(a)をもとに図 1(b)の地雷マップを作成する。図 1(a)のセル(2,1)の 8 近傍には二つの地雷が(1,0), (1,1)に埋まっているから、mine_map[1][2]=2 とする。

(STEP 4) ユーザが指定したセルおよびその 8 近傍のセルを開くコードを open_cell() メソッドに追加しなさい。

- ✓ ユーザが指定したセルが地雷セルの場合は、ゲームオーバ、
- ✓ 8 近傍のセルのうち地雷セルは開かない、
- ✓ ユーザが指定したセルが既に開いている場合は、そのまま 8 近傍セルは開かない。
- ✓ ユーザが指定したセルにフラグが設定されていても、そのセルを開く、
- ✓ 8 近傍のセルのうちフラグが設定されたセルは開かないこととする。

また、ゲームの進行状況は 2 重リスト game_board に記録すること。game_board の全要素のうち、開かれていないセルの値を CLOSE (0)、開かれたセルの値を OPEN (1) とする。例えば、図 1(b)に示す地雷マップの状態のとき、ユーザがセル(2, 1)を指示すると、8 近傍のセルを OPEN (1) の状態にする。ただし、地雷があるセル(1,0), (1,1)は CLOSE (0) のままにしておく。

図 2 は表示例である。CLOSE 状態のセルは“x”を、OPEN 状態のセルは近傍の地雷数を、近傍に地雷が全く無いセルには空白を表示する。画面表示は print_game_board() メソッドが行うのでコードを追加する必要はない。

(オプション課題 3) セルの状態によって表示文字(“x”, “”)を選択するコードを、if 文ではなく辞書を使用するように print_game_board() メソッドを書き換えなさい。

(STEP 5) ユーザが指定したセルにフラグを立てるコードを flag_cell() メソッドに追加しなさい。

フラグの位置に対応する game_board の要素の値を FLAG (2) とする。

- ✓ すでにフラグが立っていたら、フラグを解除して CLOSE (0) 状態に戻す。
- ✓ 開いているセル(OPEN 状態)を指定した場合は何もしない(OPEN 状態のまま)

(STEP 6) 地雷セル以外のセルが全て開かれたらゲームが終了し、ゲームをクリアしたことを出力する。地雷セル以外のセルが全て開かれたか判定するコードを is_finished() メソッドに追加しなさい。

[y]								
0	0	-1	0	0	0	0	0	-1
1	0	-1	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	-1	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	-1
4	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	-1	-1	-1	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	-1	0
7	-1	0	0	0	0	0	0	0
-----								[x]
0 1 2 3 4 5 6 7								

(a) init_mine_map() 実行直後

[y]								
0	2	-1	2	0	0	0	1	-1
1	2	-1	2	0	1	1	2	1
2	1	1	1	0	1	-1	2	1
3	0	0	0	0	1	1	2	-1
4	1	2	3	2	1	0	1	1
5	1	-1	-1	-1	1	1	1	1
6	2	3	3	2	1	1	-1	1
7	-1	1	0	0	0	1	1	1
-----								[x]
0 1 2 3 4 5 6 7								

(b) count_mines() 実行後の mine_map

図 1 地雷マップの例

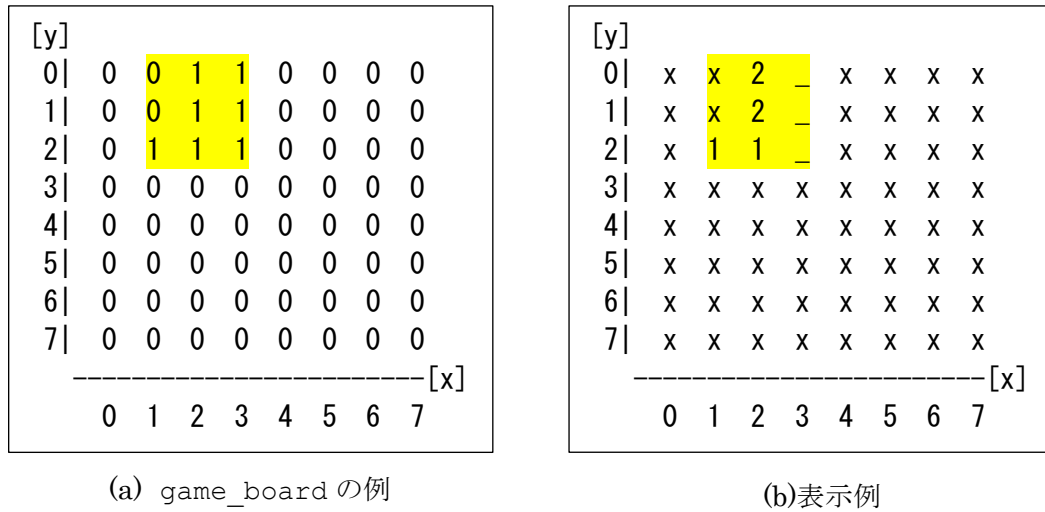


図 2 ゲーム盤の状態(a)と対応する表示(b)の例

(STEP 7) 単体テスト “TestMinesweeper.py”を実行し、テストをパスすることを確認しなさい（図 3）．
コマンドラインから”python TestMinesweeper.py”を実行する．

3. 次回までの宿題

- ・ 次回までに、できるところまでプログラムを作成してること．疑問点を整理しておいてください．
次回の授業時間の最初に質問を受け付けます．
- ・ 2週間後までにプログラムを完成させて、次の要領で提出してください．

4. 課題提出方法

- ・ LETUS の課題提出エリアに 10/10(木) 12:50 までに提出すること．
- ・ 提出物：
 - ソースコード（処理概要が分かるようにコメントを入れること） Minemap.py
- ・ 単体テストにパスした状態で提出すること．

以上

```
(base)> python TestMinesweeper.py
test_count_mines (__main__.TestMinesweeper)
地雷数のカウント ... ok
test_flag_cell (__main__.TestMinesweeper)
flag_cell メソッドのテスト ... ok
test_init (__main__.TestMinesweeper)
初期化メソッドのテスト ... ok
test_init_game_board (__main__.TestMinesweeper)
ゲーム盤の初期化 ... ok
test_init_mine_map (__main__.TestMinesweeper)
地雷マップの初期化 ... ok
test_is_finished (__main__.TestMinesweeper)
ゲームが終了したか (すべてのセルを開けたか) チェック ... ok
test_open_cell (__main__.TestMinesweeper)
open_cell メソッドのテスト ... ok

-----
Ran 7 tests in 0.007s

OK
```

図 3 単体テストの実行結果 “Ran 7 tests OK”と表示されるまでテストを繰り返す.